



## 北潟っ子3つの誓い

- 一つ、私たちは、わがまちに誇りを持ち、まちのためによいことをします。
- 一つ、私たちは、家族のことを思い、家族のために役立つことをします。
- 一つ、私たちは、自分がよいと思うことをねばり強くがんばります。



あけましておめでとうございます。すがすがしい気持ちで新年をお迎えのことと思います。いつもより長めの休みが終わり、元気に子どもたちが登校してきました。今年のお正月は、雪のない穏やかなお正月で、子どもたちからも楽しかったという声が聞かれました。

2017年がスタートしました。酉年は夜明けを告げる縁起の良い年、酒にも酉が使われるように「実り」多い年とも言われています。今年も、家庭や地域と協力しながら、楽しい学校をめざして教育活動を進めてまいりたいと思っています。どうぞ、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



図書室もとりで  
お出迎え

## 一年の計は元旦にあり

集会で、目標をもって、それに向けてあきらめず挑戦していこうという話をしました。

☆子どもたちに、今年の目標を聞いてみました。

- あやとりが上手にできるようになる。(1年)
- 二重跳びが10回以上跳べるようになる。(2年)
- ピアノが上手にひけるようになる。(3年)
- 百人一首をたくさん取れるようになる。(4年)
- サッカーのディフェンスがうまくできるようになる。(5年)
- チアで全国大会優勝。(6年)

どの子ども、瞳を輝かせながら、自分の目標を語ってくれました。目標達成のためには、何をするといいいのか考えて行動し、ときどきはこの目標を振り返ることも大切ですね。がんばれ、北潟っ子！

## 書き初め大会

気分も新たに、書き初めに挑戦しました。1・2年は、硬筆、3年以上は、毛筆です。どの子ども、真剣な表情で、筆を進めていました。



2学期制をとっているあわら市では、10日から早速授業がスタート。どの学年も、落ち着いてしっかり学習に取り組んでいます。



2年生 生活科



4年生 算数



5年生 算数

## 酉年にちなんだ言葉

### 「啐啄同時」(そくたくどうじ)

「啐」とは、鶏の雛が卵から生まれ出ようとするとき、殻の中から卵の殻をつついて音をたてること。「啄」とは、その音を聞いて、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破ること。

「啐」と「啄」のタイミングが大事で、このタイミングがずれると、ひながうまくかえりません。教師と児童、親と子の関係も同じで、子が自ら考え行動するのと、それを応援することがうまく呼応して、子どもたちは大きく伸びていきます。手を差し伸べるタイミングがうまくいっているだろうか、過干渉だったり無関心だったりすることはないかと、自分自身を振り返りながら、これから子どもたちと接していきたいです。また、この「啐啄同時」は、北潟子ども園にも掲げられ、大事にされている言葉です。子ども園から小学校へとこの言葉を引き継ぎながらの教育をしていきたいです。

## 今年のあいさつ運動始まる



### お願い

年賀状を書かれたときの書き損じはがきがありましたら、お子様を通して学校にお持ちください。県PTA連合会や県視覚障害者福祉協会に送り、PTA活動支援や障害者支援に役立てていただこうと思います。よろしくお願いたします。

学年あいさつ運動が始まりました。今週は、6年生が大きな声であいさつ運動を行っています。

### 登下校の子ども見守りに感謝

10日、寒い中、朝早くから横断歩道のところに旗をもって立ってくださる保護者の方がいました。そして、しばらくすると、見守り隊の方々が子どもたちに付き添って歩いてくださっていました。子どもたちが安全に登下校できるのは、見守り隊や保護者の方々のお陰だなぁとありがたく思いました。本当にありがとうございます。これからは、雪道での登下校が予想されます。どうぞ、今後とも子どもたちの安全のために、お力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いたします。